

## 4 学習・研究

(1) 1年間に「学習・研究」を行った人は約4094万人、行動者率は36.2%

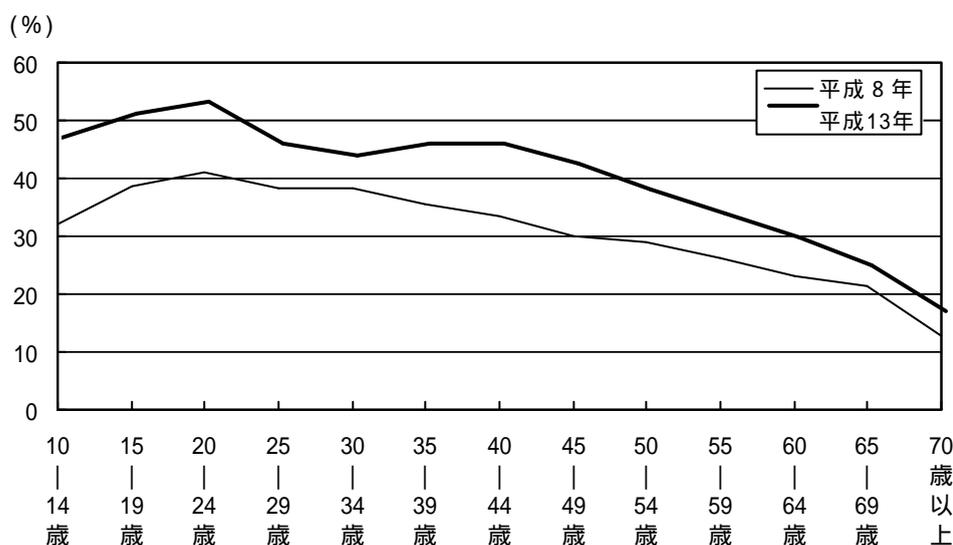
過去1年間に何らかの「学習・研究」<sup>1)</sup>を行った人は4093万7千人で、10歳以上人口に占める割合（行動者率）は36.2%となっている。行動者率を平成8年と比較すると、5.6ポイント上昇している。

行動者率を男女別にみると、男性は36.2%（行動者数1995万3千人）、女性は36.2%（2098万4千人）で、男女とも同じ行動者率となっている。これを平成8年と比較すると、男女とも5ポイントを上回る上昇となっている。

(2) 若年層で高い「学習・研究」の行動者率

「学習・研究」の行動者率を年齢階級別にみると、10歳代前半から20歳代前半で高くなっており、年齢が高くなるに従っておおむね低下している。これを平成8年と比較すると、すべての年齢階級で上昇している。（図4-1）

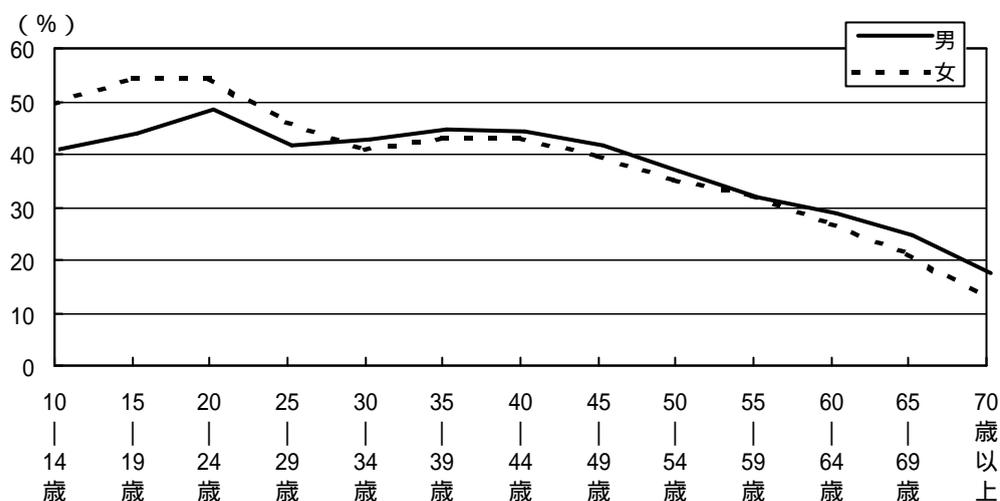
図4-1 年齢階級別「学習・研究」の行動者率 - 平成8年,13年



<sup>1)</sup> 「学習・研究」は、児童・生徒・学生が授業、予習、復習として行うものや社会人の職場研修を含まないが、クラブ活動や部活動を含む。

また、男女別にみると、10歳代と20歳代では女性の方が高くなっているが、60歳代以上では男性の方が高くなっている。(図4-2)

図4-2 男女、年齢階級別「学習・研究」の行動者率

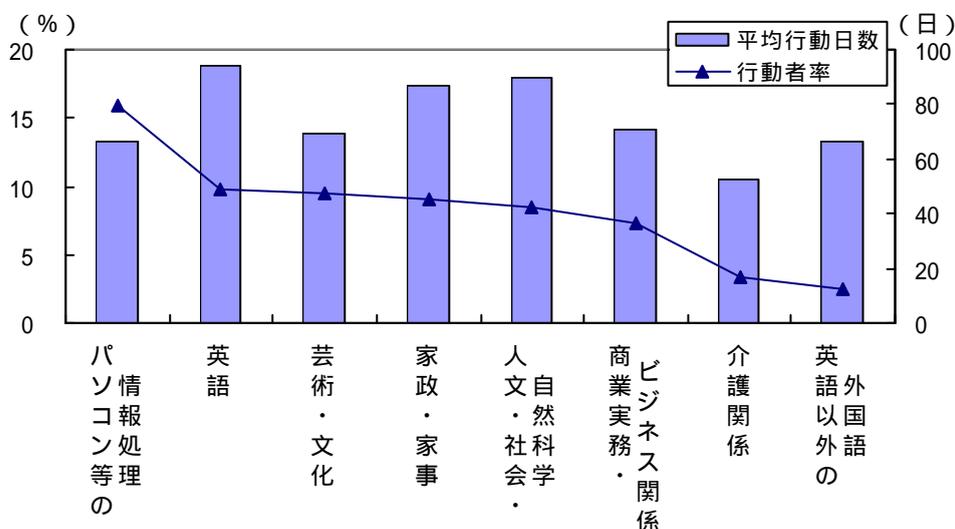


(3) 平均行動日数が多い「英語」、「人文・社会・自然科学」、「家政・家事」

「学習・研究」を行った人をその種類別にみると、「パソコン等の情報処理」が1796万4千人(行動者率15.9%)で最も多く、次いで、「英語」が1109万1千人(9.8%)、「芸術・文化」が1072万9千人(9.5%)、「家政・家事(料理・裁縫・家庭経営等)」が1029万9千人(9.1%)となっている。

また、1年間の平均行動日数を「学習・研究」の種類別にみると、「英語」が94.2日で最も多く、次いで、「人文・社会・自然科学(歴史・経済・数学・生物等)」が89.9日、「家政・家事」が87.2日となっている。(図4-3)

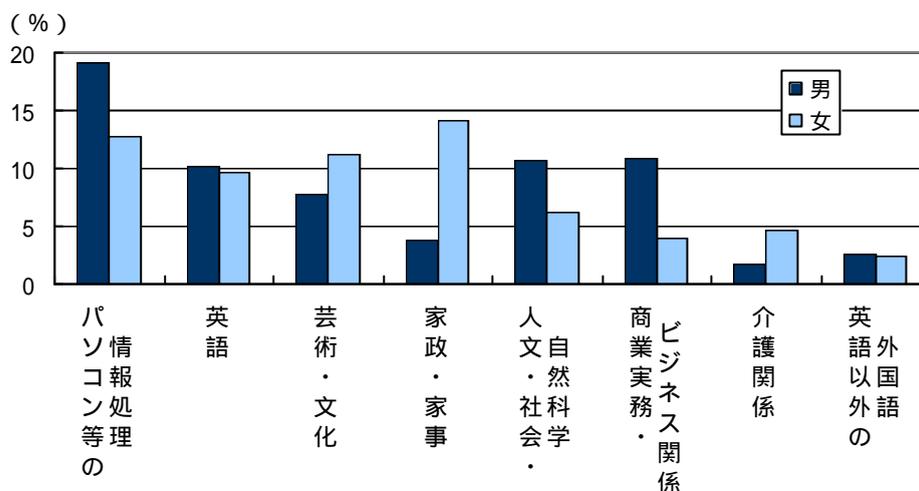
図4-3 「学習・研究」の種類別行動者率・平均行動日数



(4) 「パソコン等の情報処理」は男性、「家政・家事」は女性が高い行動者率

「学習・研究」を行った人を男女別にみると、男性は、「パソコン等の情報処理」が1055万6千人(行動者率19.2%)と最も多く、次いで、「商業実務・ビジネス関係」が600万9千人(10.9%)、「人文・社会・自然科学」が587万6千人(10.7%)、「英語」が554万3千人(10.1%)となっている。一方、女性は、「家政・家事」が821万人(14.2%)と最も多く、次いで、「パソコン等の情報処理」が740万8千人(12.8%)、「芸術・文化」が648万7千人(11.2%)、「英語」が554万7千人(9.6%)となっている。(図4-4)

図4-4 男女、「学習・研究」の種類別行動者率



(5) 若年層で行動者率の高い「英語」、青壮年層で高い「パソコン等の情報処理」

「学習・研究」の行動者率を年齢階級別にみると、男性は、10歳代では、「英語」が最も高く、次いで、「人文・社会・自然科学」、「パソコン等の情報処理」、20歳代では、「パソコン等の情報処理」、「英語」、「人文・社会・自然科学」、30歳代では、「パソコン等の情報処理」、「商業実務・ビジネス関係」、「英語」の順となっている。また、40歳代と50歳代では、「パソコン等の情報処理」、「商業実務・ビジネス関係」、「人文・社会・自然科学」の順、60歳代では「パソコン等の情報処理」、「人文・社会・自然科学」、「芸術・文化」の順、70歳以上では「芸術・文化」、「人文・社会・自然科学」、「パソコン等の情報処理」の順となっている。

一方、女性は、10歳代では、「英語」が最も高く、次いで、「家政・家事」、「芸術・文化」、20歳代では、「パソコン等の情報処理」、「家政・家事」、「英語」の順となっている。また、30歳代と40歳代では、「パソコン等の情報処理」、「家政・家事」、「芸術・文化」の順、50歳代では、「家政・家事」、「パソコン等の情報処理」、「芸術・文化」の順、60歳代では、「家政・家事」、「芸術・文化」、「パソコン等の情報処理」の順、70歳以上は、「家政・家事」、「芸術・文化」、「介護関係」の順となっている。(表4-1)

表4 - 1 年齢階級,「学習・研究」の種類別行動者率の順位

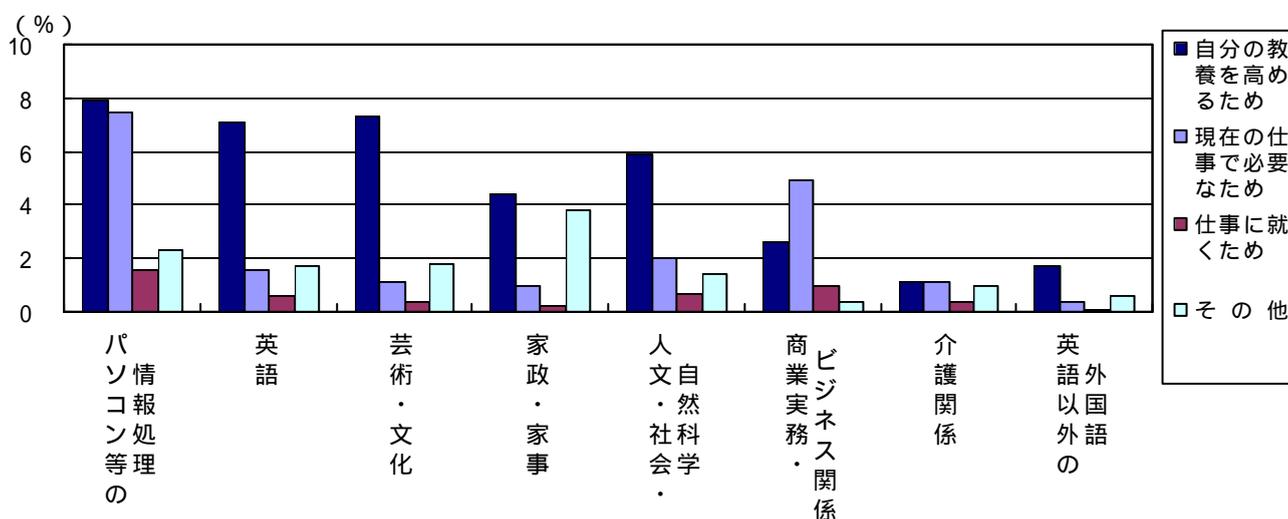
男	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代	英語	人文・社会・自然科学	パソコン等の情報処理	芸術・文化	家政・家事
20歳代	パソコン等の情報処理	英語	人文・社会・自然科学	商業実務・ビジネス関係	芸術・文化
30歳代	パソコン等の情報処理	商業実務・ビジネス関係	英語	人文・社会・自然科学	芸術・文化
40歳代	パソコン等の情報処理	商業実務・ビジネス関係	人文・社会・自然科学	芸術・文化	英語
50歳代	パソコン等の情報処理	商業実務・ビジネス関係	人文・社会・自然科学	芸術・文化	英語
60歳代	パソコン等の情報処理	人文・社会・自然科学	芸術・文化	商業実務・ビジネス関係	英語
70歳以上	芸術・文化	人文・社会・自然科学	パソコン等の情報処理	商業実務・ビジネス関係	家政・家事

女	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代	英語	家政・家事	芸術・文化	人文・社会・自然科学	パソコン等の情報処理
20歳代	パソコン等の情報処理	家政・家事	英語	芸術・文化	人文・社会・自然科学
30歳代	パソコン等の情報処理	家政・家事	芸術・文化	英語	商業実務・ビジネス関係
40歳代	パソコン等の情報処理	家政・家事	芸術・文化	英語	介護関係
50歳代	家政・家事	パソコン等の情報処理	芸術・文化	介護関係	英語
60歳代	家政・家事	芸術・文化	パソコン等の情報処理	介護関係	人文・社会・自然科学
70歳以上	家政・家事	芸術・文化	介護関係	人文・社会・自然科学	パソコン等の情報処理

(6) 「学習・研究」は「自分の教養を高めるため」の行動者率が最も高い

「学習・研究」の行動者率を目的別(複数回答)にみると、「自分の教養を高めるため」が21.8%と最も高く、次いで、「現在の仕事で必要なため」が13.3%、「仕事に就くため」が3.5%となっている。これを種類別にみると、「商業実務・ビジネス関係」では、「現在の仕事で必要なため」が最も高いが、そのほかの種類では、「介護関係」を除き、「自分の教養を高めるため」が最も高くなっている。(図4 - 5)

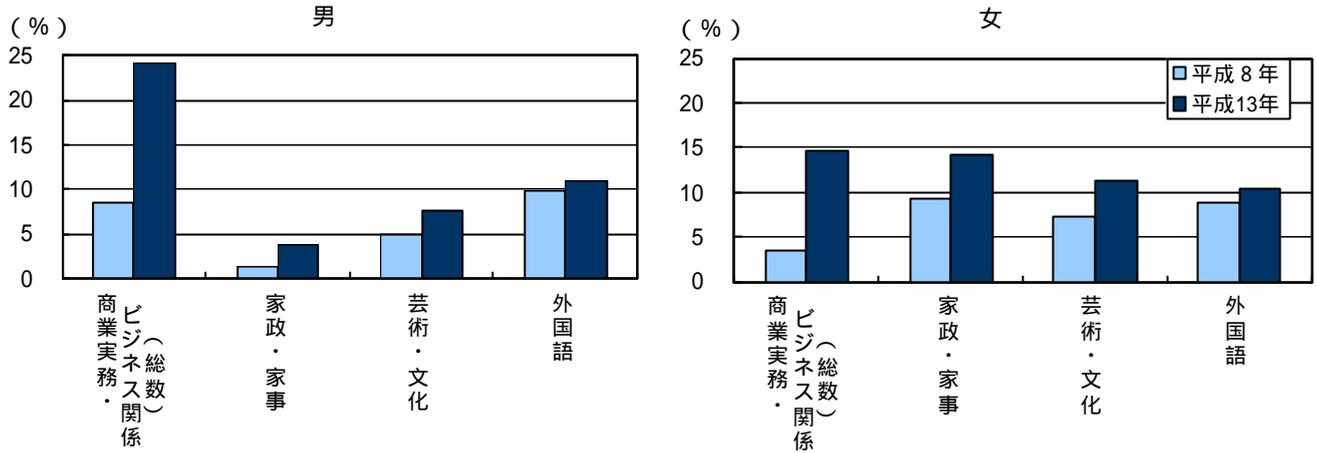
図4 - 5 「学習・研究」の種類、目的別行動者率



(7) 「商業実務・ビジネス関係（総数）」の行動者率は男女とも大幅に上昇

平成8年と比較可能な「学習・研究」の種類について行動者率をみると、すべての種類で平成8年に比べ上昇している。特に、「商業実務・ビジネス関係（総数）」<sup>2)</sup>の上昇幅が大きく、男女ともに10ポイント以上の上昇となっている。（図4-6）

図4-6 「学習・研究」の種類別行動者率 - 平成8年，13年



<sup>2)</sup> 「商業実務・ビジネス関係（総数）」は、「パソコン等の情報処理」と「商業実務・ビジネス関係」を合わせたものである。